

やまぐち

主な内容

本号は16頁です

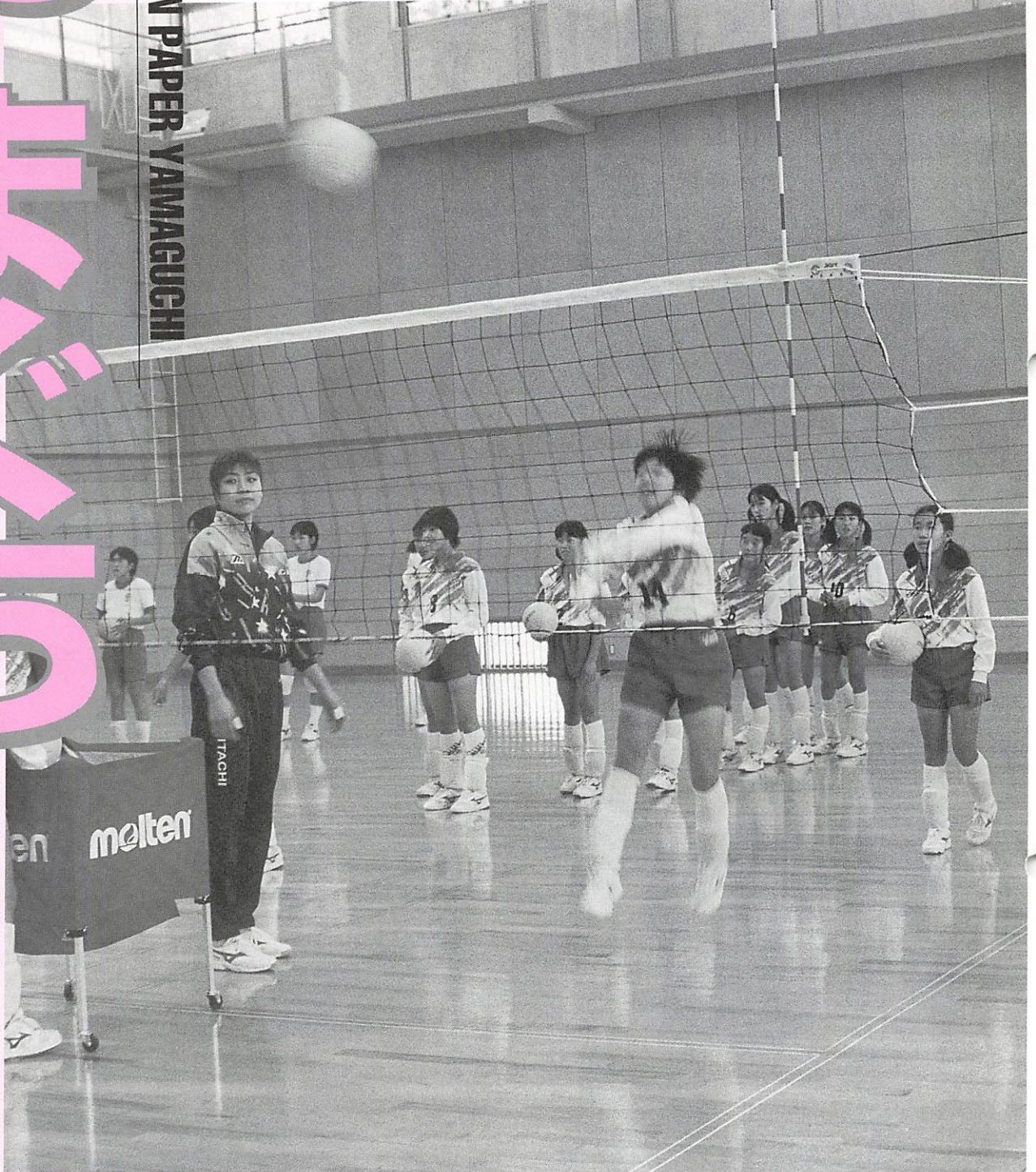
- 秋の叙勲・褒章
- 16地区めぐり⑨「平川」
- 中也と磯多

市民交通災害共済受付中

毎月15日は、お年寄りの交通安全日
思いやりみんなですすめる交通安全
交通事故状況《10月》

- 発生件数 90 (累計 726 / 前年比+156)
- 死亡者 1 (累計 7 / 前年比 +3)
- 負傷者 109 (累計 888 / 前年比+235)

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/森重印刷株式会社



Vリーグの選手にスパイク!

11月2日、山口県セミナーパーク体育館で、Vリーグ女子日立バレーボール部の指導によるバレーボール教室が開催されました。これは山ロライオンズクラブが社会奉仕活動の一環として行ったもので、参加した中・高校生約120人は、あこがれのVリーグの選手に直接指導してもらえるとあってドキドキワクワク。最後は選手との試合形式の練習で、すばらしいスパイクをきめ、観客からも大きな歓声がわいていました。

11/15

1997年No.1208

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。
(上段は、平成9年11月1日現在、下段は今年1月1日との比較)



138,222人
+1,031人



66,081人
+376人



72,141人
+655人



53,816
+875

山口市から15人の方が受章の荣誉に

秋の叙勲・褒章

おめでとうございます

平成九年秋の叙勲・褒章が発表されました。長年にわたり、国や地域、業界などのためにそれぞれの分野で功績をあげられた方々です。おめでとうございます。

山口市在住で受章された方々は次のとおりです。お名前（敬称略）、功労概要、（ ）内は年齢・住所・主要経歴です。皆さんに受章の喜びをお伺いしました。

秋の叙勲

全国で四千五百三十六人の中から、県内在住八十七人、市内から十四人の方が受章の荣誉に輝かれました。

〈勲三等瑞宝章〉

中野安久・教育研究功労（75・大内・山口大学名誉教授）



大変名誉なことと喜んでいきます。多くの優秀な教え子に恵まれて今日に至ったことは望外の幸せだったと思います。

これを区切りとして今後ますます精進するつもりです。

〈勲四等旭日小綬章〉

藤本裕夫・地方自治功労（70・木町・元山口県農林部長）



有難いことだと思っています。これも上司や先輩、若い職員に支えられて一生懸命仕事をしてきたのが認められたのでしょうか。

この受章を機にあらためて社会のために貢献するよう一生懸命つとめていきたいと決意を新たにしています。

石井英雄・検察事務功労（71・赤妻町・元広島地方検察庁事務局長）



大変光栄に思っています。先輩をはじめ上司、同僚のご指導・ご鞭撻のお陰です。皆さんを代表して受章したも

のと感謝の気持ちでいっぱいです。組織の一員として四十一年間勤めてきたことをあらためて感慨深く思い起こしています。

〈勲四等瑞宝章〉

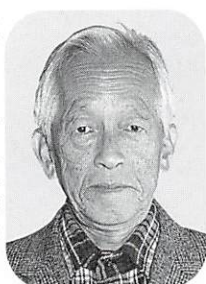
児玉郁哉・地方自治功労（70・朝倉町・元山口県企業局長）



思いがけない叙勲にとまどいながらも喜んでいきます。

これもひとえに諸先輩をはじめ、皆様の温かいご指導・ご支援のおかげだと、心からお礼申し上げます。いたい気持ちでいっぱいです。

甲良良三・海上保安功労（71・小鯖・元海上保安庁灯台部工務課浮標室長）



光栄です。永年勤めてきて多少とも皆さんのお役に立ったのが認められたのでしょうか。

これからはボランティアに力をそそぎ市社会福祉協議会でやっている車いすの運搬の仕事をした

いと思っています。

〈勲五等双光旭日章〉

岡山 等・地方自治功労（70・大歳・元山口県監査委員事務局長）



有難いですね。公務員として精一杯がんばってきたのが認められたのでしょうか。

これも先輩や同僚のお陰だと感謝・感激でいっぱいですね。まだ元気なのでこれを機にボランティアに取り組み社会のお役に立ちたいと思っています。

〈勲五等瑞宝章〉

伊藤武夫・労働行政事務功労（82・松美町・元宇部労働基準監督署長）



まさか受章するとは思ってもいなかったの身にあまる光栄です。皆さんを代表してもらったのだと感謝しています。広く社会の

皆さんのご支援の賜物です。これからもこの榮譽に恥じないように生きていきたいと肝に銘じています。

〈勲六等瑞宝章〉

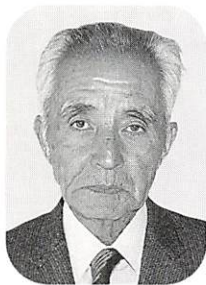
田邊 正人・防衛功勞（61・大内・元三等陸尉）



先輩や同僚など多くの人たちのご支援のお陰で受章したのだと喜んでいきます。

これからも受章に恥じないよう一日一日を悔いが残らないようがんばっていききたいと思っています。

藤津 甲一・鉄道業務功勞（73・嘉川・元日本国有鉄道職員）

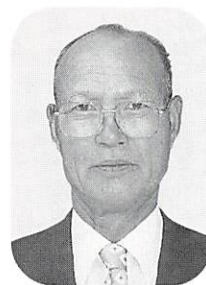


有難いことだとは思いますが、自分には身に余ることです。何か皆さんに申し訳ないような気さえします。

農協の役員をしているのでこれからも微力ながら地域のために

お役に立つようがんばりたいと思っています。

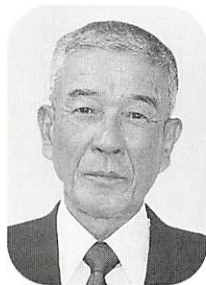
西村 巖・消防功勞（73・名田島・元山口市消防団分団長）



まさか受章するとは思わなかったので本当にとまどっています。自分がもらったのではなく、皆さんを代表してもらったような気がしています。消防団の後援会のお世話をしているのでこれからもう少し皆さんのお役に立つようがんばりたいと思っています。

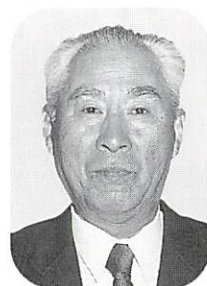
〈勲七等瑞宝章〉

原 孝美・防衛業務功勞（61・平川・元防衛庁技官）



まさか受章するとは思わなかったのとまどいさえ感じています。幸い健康に恵まれてるのでこれからもこの受章に恥じないよう皆さんのお役に立つようにしたいですね。

徳光 重明・矯正業務功勞（71・平川・元山口刑務所看守部長）



まさか受章するとは思いませんでした。この度、はからずも叙勲の榮に浴しました。

これもひとえに先輩、同僚をはじめ皆さんのご指導のお陰と深く感謝しています。

〈勲七等青色桐葉章〉

三輪 謙治・矯正業務功勞（71・大内・元山口刑務所看守長）

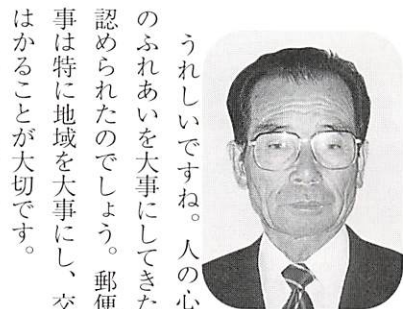


この度、身に余る光榮を賜り、心から喜んでいきます。

これも主として永い間苦楽を共に勤めた職場の方々温かい励まし、家族の支援などのお陰だと深く肝に銘じて今感謝の気持ちでいっぱいです。

〈勲六等瑞宝章〉

藪野 好弘・郵政業務功勞（64・秋穂二島・元郵政事務官）



うれしいですね。人の心と心のふれあいを大事にしてきたのが認められたのでしょう。郵便の仕事は特に地域を大事にし、交流をはかることが大切です。

職場、地域の人から気安く声をかけてもらうことが大切だと思います。

これからも地域社会のために少しでも役に立つようがんばりたいですね。

秋の褒章

全国で七百二十九人、県内在住十一人、市内からはお一人が受章の榮譽に輝かれました。

〈黄綬褒章〉

池部 豊・業務精勵（金融業）（65・中央二丁目・現山口信用金庫理事長）



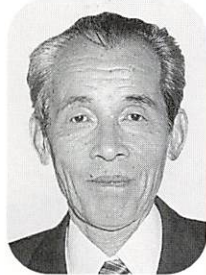
信用金庫は地域に密着した金融機関として、「地域のために」ということを念頭に置いてやってきました。

今回受章できたのも、職員や地域の皆さんなどのお陰だと思っています。これからも信用金庫の理念でもある「相互扶助」ということを考えながら、自分のできる限りふるさと山口のために貢献したいと思っています。

平成9年度体育指導委員功勞表彰文部大臣表彰に末田さん

5年に一度表彰される文部大臣表彰を県内でお2人、市内からお1人が受賞されました。（敬称略）

末田種彦（66・吉敷）



スポーツが好きでやってきました。思いもかけず表彰を受けとまどっています。

ラグビーのノーサイドの精神・勝負が終わったら敵も味方もなく交流する。これを貫いてきたのがよかったです。この受賞を機にますます生涯スポーツの振興にお役に立ちたいと思いを新たにしています。



11月11日～20日は 同和問題啓発推進 強調旬間です

山口県同和問題啓発推進強調旬間にちなんで、市内の小学生・中学生に同和問題に関する詩・感想文・ポスターの作品募集を呼びかけたところ多数の作品が寄せられました。ここでは特選を受賞した作品を紹介します。

詩 特選

本当の自分を

山口市立大内小学校六年

清家 利恵



みんなといっしょにいたいから
みんなにみとめてもらいたいから
自分の心にウソついて
言いたいこと言わないで
みんなといっしょに合わせる
本当はもっといいこともある
けれど
本当はもっとやりたいこともある
けれど
仲間はずれにされたくないから
いじめられたくないから
ウソの自分を作り出し
みんなに好かれようと努力する
本当は
本当の自分を出したいのに
出せない自分が情けない

とっても勇気のいることだけど

本当の自分を出した時

心の重荷がおりて

少し楽になった

本当の自分を出すことで

自分を少し好きになれた

どんなにいやなこといわれても

どんなにいじめられても

自分の心にウソをつくより

自分の心に正直になるほうがいい

ウソの自分を作らずに

本当の自分を出し

正直に生きていく

そんな私でありたい

「生きる」ってこと

山口市立鴻南中学校三年

岩田 美保



「生きる」ってことは……
可能性を確かめること

感想文特選

言葉ひとつで

山口市立陶小学校五年

林 宏久



人はだれでも
苦しみ悩み悲しみをもっている
その波とぶつかって
どれだけ乗り越えていけるか
自分の可能性を知ろう

「生きる」ってことは……
簡単なようで難しいこと
人はだれでも
一人だけでは生きられない
そんな現実を見つめて
どれだけの人に正直になれるか
自分の優しさを知ろう

「生きる」ってことは……
誇らしく立派なこと
人はだれでも
生きる意味をもっている
その理由を考えて
自分がなぜ生かされているのか
自分自身を知ろう

自分の弱さを見つめて
他人にはわからない
自分自身がわかったとき
他人の気持ちがわかるようになる
一人ではなく他人と手をたずさえて
どんな峠でも越えていこう

「あっ、しまった。」
四年のころの帰りの会の時の
ことでした。下校するために、ほ
くは教室の後ろまで、かばんを取
りに行き、自分の席にもどろうと
急いでいました。

その時です。急いでいたせい
か、A君の頭にかばんが当たって
しまったのです。A君の顔が真っ
赤になり、目がつり上がって、ほ
くにとびかかろうとしました。ほ
くは思わず、
「ごめんね。」
と仰いました。すると、A君はニ
ッとわらって、
「ええっちゃ。気にすんな。」
と言って、ほくを許してくれまし
た。

ほくは、どっちかといえば、
無口な方です。思ったことが、人
前でうまく言えないのです。その
せいか、一年のころからよく友達
にいじめられていました。自分で



は、一生けんめい考えてやっていくつもりでしたが、時々、失敗することがありました。そんな時、いつもまわりの友達に、ぼくはからかわれていました。

三年の時のことです。運動場に遊びに出ようと急いでいたせいか、自分たちのくつ箱のある所を通らずに、すぐ横のお客さん用の玄関を通ってしまったのです。それを見ていたA君や他の友達が、

「おい、林。なんで、そこを通るんげえやあ。いけんのんでえ。」と大きな声でぼくに言いました。ぼくは、思わずカッとなって、

「ただ、まちがえただけじゃないか。」

そんなぼくの言葉を聞いて、A君たちは、もっと大きな声で、ぼくの失敗をはやしたてたのです。

こんなことが何度もあり、ぼくは、ますます無口になっていききました。そして、友達とも遊ばず、一人でいることが多くなったのです。

そんな時、このかばん事件が起きたのです。

「ごめんね。」

と言ったことで、あのA君が、ニッと笑って許してくれたのです。

ぼくはこう思いました。そうか。ぼくは、今までずっと無口だ

ったから、ごめんってあやまらなかつたんだ。だから、みんなから、もっとひどくからかわれたんだ。今度から、失敗した時は、ごめんって言う。

こうして、「ごめん。」と自然に言うようになってからは、それまでのように友達にからかわれることは少なくなりました。

「ごめんね。」「ありがとう。」

こんなちよつとした言葉で、だれもが、やさしくなり、みんなが楽しく過ごせるのです。

今、ぼくは学校が楽しくてたまりません。

ポスター特選

山口市立潟上中学校二年

山根路蘭



入選されたみなさん

小学校児童感想文《入選》

- ◇吉武みゆき(陶小五年) ◇木村有香(大歳小六年) ◇有光英利佳(大殿小五年) ◇高尾知世(湯田小六年) ◇井上千恵子(興進小六年)

小学校児童詩《入選》

- ◇西田綾(湯田小五年) ◇柴田真尚(大殿小六年)

中学校生徒詩《入選》

- ◇田原愛子(白石中三年) ◇岩崎敬正(鴻南中一年) ◇河野聖子(湯田中二年) ◇福永友美(潟上中二年)

中学校生徒ポスター《入選》

- ◇小柳彩子(白石中二年) ◇師子角佳子(湯田中二年) ◇田中理恵(二島中三年) ◇西山奈津美(大内中三年)



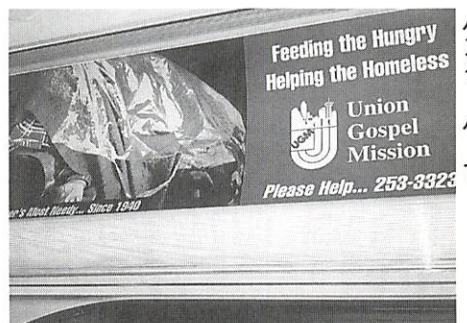
人権と環境を考える

人権センター海外研修

ロサンゼルスで

▼一九六五年と九二年に起きた暴動の中心地ワッツに、人種差別の廃絶を願って、奴隷船で運ばれてきたからの黒人の生活ぶりや、公民権運動史上有名な事件を再現する博物館が造られています。政府や州・市からの委託を受けて来年二月には附属施設も完成の予定です。

▼路線バスの入口はステップの最下段が歩道にせり出していきます。車いすが乗るとそのまま座席のフロアまで上昇するので、障害者はひとりで乗り降りできるようになっています。



救いを呼びかける電車内広告

▼カナダでは、先住民に居住区を定め、生活費を保障するなどの保護政策をとっていますが、住民の多くが勤労意欲を失い、アルコール依存が増えるなどの弊害が深刻なようです。

子どもたちには、五歳になると親元を離れて寄宿舎での英語使用を義務づける指導が先年まで行われました。自らの言語を話すと体罰まで科せられたといえます。

▼バンクーバー郊外の入り江は一面、切り出した丸太で埋め尽くされ、森林地帯を背景にパルプ工場の煙が幾筋も立ち上っています。製材工場から出るオガ屑を、まるでボタ山のように積み上げているのを見た衝撃は、今も薄れることがありません。

平成九年度上半期財政公表

市の予算がどのように執行されているかをみなさんにお知らせするため、平成九年度上半期（四月一日～九月三十日）の財政状況を公表します。

◆一般会計

一般会計は当初四百一億七千五百万円でスタートしましたが、その後二億四千三百八十九万円の追加補正などを行い、九月末現在で総額四百十四億千八百八十九万円となっています。

補正の主な内容は、山口鹿野線代替墓地取得等整備事業に二千七百三十七万円、平井市営住宅公共下水切替工事として四千万円、小学校給食室増改築工事等に三千六百三十万円、災害復旧工事に二千万円などです。

一般会計の収支状況

(9月末)

入			出		
歳入項目	予算現額(万円)	収入率(%)	歳出項目	予算現額(万円)	執行済率(%)
市税	1,844,584	55.0	議会費	35,086	48.4
地方譲与税	61,500	56.8	総務費	533,915	43.0
利子割交付金	15,000	47.0	民生費	804,034	41.7
ゴルフ場利用税交付金	5,500	35.1	衛生費	444,743	65.5
自動車取得税交付金	36,000	32.5	労働費	12,916	88.5
地方交付税	500,000	68.1	農林水産業費	184,390	34.0
分担金および負担金	69,116	36.2	商工費	140,637	56.4
使用料および手数料	49,791	50.4	土木費	671,760	28.8
国庫支出金	348,372	19.1	消防費	116,456	56.6
県支出金	205,432	10.9	教育費	911,832	77.5
財産収入	22,662	10.1	災害復旧費	18,219	8.0
寄附金	2,471	16.9	公債費	454,649	47.2
繰入金	214,270	0.0	諸支出金	30,000	100.0
市債	722,790	19.7	予備費	7,000	0.0
その他	268,149	25.7			
合計	4,365,637	40.4	合計	4,365,637	51.3

※歳入歳出予算現額には、繰越額223,748万円を含んでいます。

歳出状況は表のとおりで、収入済率四〇・四％、執行済率五一・三％となっています。

また、上半期に実施または着手した事業のうち、主なものは次のとおりです。

- ・ **学校教育の充実**
宮野小、二島中、平川中、大中校舎増改築
- ・ **宮野小給食室、白石小、大殿中共同調理場整備**
- ・ **総合体育施設の充実**
やまぐちリフレッシュパークの整備
- ・ **生活基盤の整備**
生活道路、公園、廃棄物の減量・再利用対策など
- ・ **長寿社会対策、福祉の充実**
高齢者生きがいセンター整備、在宅介護支援センター、ホームヘルプサービス事業、デイサービス事業、シヨートステイ事業など
- ・ **農林水産業の振興**
林道荒谷線開設工事、山口漁港海岸保全施設整備
- ・ **工業の振興**
鑄銭司団地関連事業

◆特別会計

特別会計の収支状況は下表のとおりです。このうち、下水道事業では、朝倉、平川、大内御堀、宮野、吉敷、大蔵の一部を整備しています。また、農業集落排水事業では、名田島地区について整備を進めています。

特別会計の収支状況 (9月末現在・単位：万円)

会計	予算現額	収入済額	執行済額	執行済率(%)
国民健康保険	768,132	266,512	394,720	51.4
老人保健	1,447,211	560,070	570,561	39.4
同和対策資金貸付	4,146	1,288	1,375	33.2
下水道	603,814	56,543	419,184	69.4
土地取得	7,941	0	3,996	50.3
駐車場	5,067	2,105	3,152	62.2
農業集落排水	135,446	10,437	113,944	84.1
特別林野	2,849	916	723	25.4
合計	2,974,606	897,871	1,507,655	50.7

※歳入歳出予算現額には、繰越額44,427万円を含んでいます。

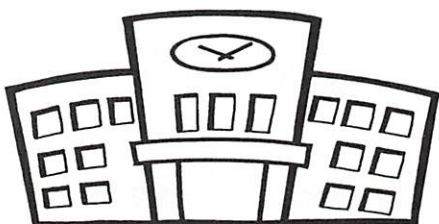
市有財産現在高

区分	9月末現在高
土地	332万1762.92㎡
建物	31万5868.40㎡
山林	6461.94ha
立木	81万2561㎡
有価証券	8360万円
出資による権利	6億0875万9980円
債権	3104.09㎡
債権	17億8414万4256円
現金	90億9913万8475円
基金	5705.25㎡
土地	

市有財産、市債の9月末現在高は左表のとおりです。

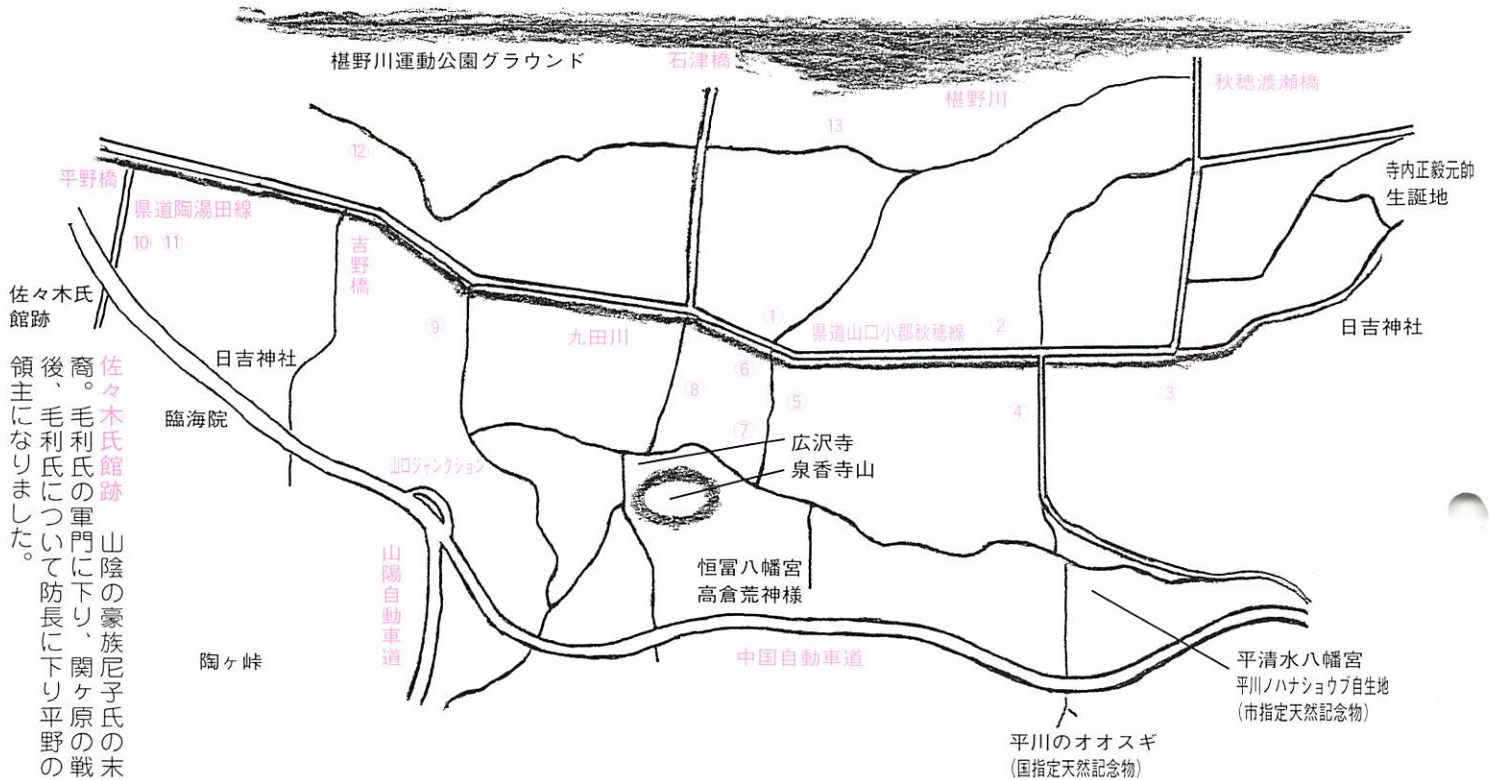
市債の状況

区分	9月末現在高
一般会計	410億5262万円
特別会計	252億0066万円
合計	662億5328万円

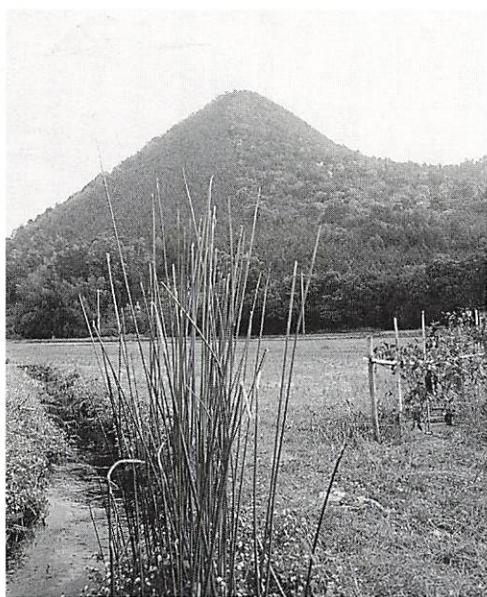
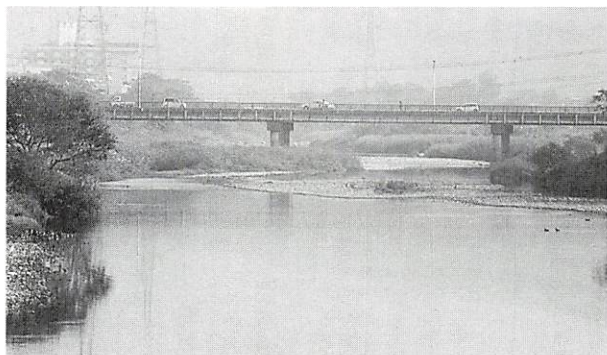


16地区めぐり⑨ 平川

1197年、仁保庄とともに恒富保に地頭職として平子重経が補任。中世になると恒富保以外に平野保、吉田保、平井保がでてきます。近世、平井・吉田・恒富・平野の4村に分かれ、明治に平井・吉田を平井村に、恒富・平野と黒川を黒川村に統合しました。同17年2村が合併し、一字ずつとって平川村が誕生、昭和19年山口市と合併しました。
人口16,739人、8,928世帯(11月1日現在)

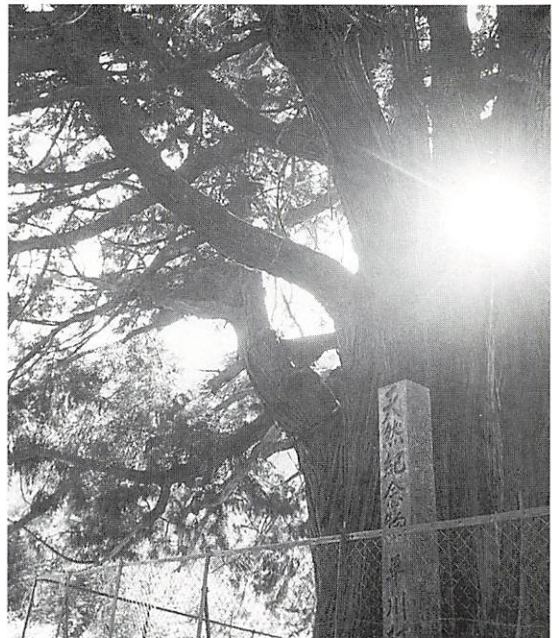


佐々木氏館跡
後、毛利氏になりました。
佐々木氏館跡 山陰の豪族尼子氏の末裔。毛利氏の軍門に下り、関ヶ原の戦



姫山

秋穂渡瀬橋 秋穂港と大内氏の山口を結ぶ街道を「秋穂街道」といい、京都の將軍や九州の大名の使いが通っていたことから「お上使道」ともいわれました。陶峠から平川に入り湯田に渡る所が秋穂渡瀬で舟がありましたが、本格的な橋が架けられたのは山口線湯田駅が開設された大正四年のことでした。



- ①平川出張所・公民館 (☎22-0026・22-4235)
- ②山口中央農協平川支所 (☎22-0667)
- ③山口大学 (☎33-5000)
- ④山大教育学部附属養護学校 (☎33-5480)
- ⑤平川幼稚園 (☎24-1661)
- ⑥平川小学校 (☎22-1789)
- ⑦平川中学校 (☎24-7000)
- ⑧中村女子高校 衛生看護・介護福祉士専攻科 (☎28-1331)
- ⑨西京高校 (☎23-8508)
- ⑩山口リハビリテーション病院 (☎21-1616)
- ⑪山口市在宅介護支援センター 山口あかり園 (☎21-1619)
- ⑫山口市水道局福良水源池
- ⑬山口市水道局小原水源池

学都山口と山口大学

山口市の学校教育は、藩政時代後期の一八一五年に上田鳳陽の設立した山口講堂にはじまります。中河原に建てられた山口講堂は藩庁の山口移転にともない、一八六三年に山口明倫館となりました。山口は萩に代わって防長文教の一大中心地となり、学都山口が誕生しました。

学都を自負する山口市にとっては、最高学府である大学の設立は長年の宿願でした。昭和二十四年、県立山口女子短期大学(現山口県立大学)とともに国立山口大学が山口市に開校しました。山口大学は、旧制の山口高等学校・経済専門学校・師範学校・青年師範学校、宇部工業専門学校、県立山口獣医畜産専門学校の六校を統合し、文理・経済・教育・工学・農学の五学部で設立されました。文理・経済・教育学部と本部は山口市に置かれ、工学部は宇部、農学部は下関に置かれました。

統合移転

『山口大学三十年誌』には、平川への統合移転の大きな契機として、農学部の移転問題と、山口大学の総合大学化への文部省の示唆が揚げられています。

昭和二十八年に、農学部移転調査委員会が組織され、山口・防

府・宇部を候補地にあげていました。宇部は大学統合の面から、防府は用地面積から不適とされませんでした。山口の平川、大内、当時の県営グラウンド(宮島町)の中から、本学に約四キロと近く、地域農業の研究・開発に最も適している

平川が第一候補地となりました。また、文部省は文理学部の改組と教養部の設置、さらに昭和四十二・四十三年の学生数の急増を考慮し山口大学の総合大学としての整備を示唆しました。

歴史



山口大学 平川に移転

左から体育館・一般教養・農学部 (S42年市政要覧) 毎日新聞社提供

推進協議会」(のち統合移転対策協議会)を設置、昭和四十年十一月には用地買収について学長招待の懇談会も平川小学校で開かれています。

姫山南麓の大学用地は約二十一万坪(別に湯田の宿舎用に一千五百坪、ちなみに旧山大敷地は四万六千坪)、用地買収・造成費は四億四千万円でした。

昭和四十年十月に農学部の移転が始まった山口大学統合移転は、予算の関係や、途中学園紛争もあり、昭和四十八年の経済学部の移転まで八年をかけて完了しました。

地元協議会からの申し入れで、大学所在地の平井を平安期以来の伝統の地名・吉田に復したのも大移転のもたらしたものでした。山口大学の移転は学都山口の様相を大きく変えました。教育学

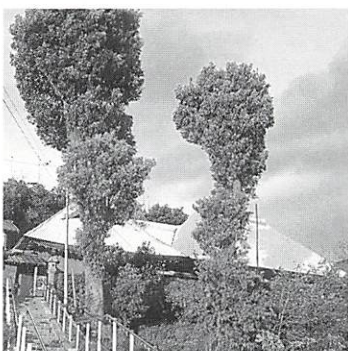
部跡は市役所に、経済学部跡は県立美術館、文理学部跡は県教育庁や県立図書館になりました。

学都山口の新中心地となった平川も地区の様相を大きく変えるとともに、昭和五十四年の山大教育学部附属養護学校を始め、西京高校(六十一年)、平川中学校(平成二年)、中村女子高校専攻科(九年)と幼稚園から大学まですべての学校がそろった学園地区に生まれ変わりました。

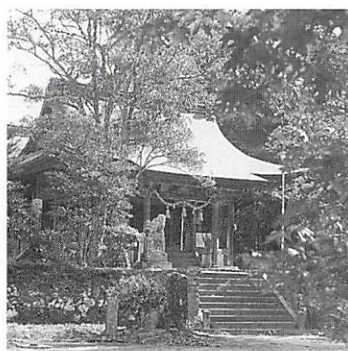


移転にともなう

昭和四十年に作成した将来構想が元になっています。道路、小原水源地の新設、県営住宅の建設、九田川改修の促進などです。平川の発展が地区のみならず山口市にも大きな貢献をしていると思っています」と話されました。



広沢寺 大内氏二十六代盛見の子教幸の菩提寺。一四七〇年頃の創建で、はじめ古熊にあり明治三年に移ってきました。木造薬師如来坐像、木造二天立像は県指定有形文化財、大般若波羅密多経は市指定有形文化財。



平清水八幡宮 八〇九年宇佐から勧請されて創建と伝えられます。本殿右側に湧き水があつて、日照りでも豪雨でも水量が一定していたということから命名されたといわれています。竹田番匠(大分県竹田の匠のことか)の一夜建立の伝説もあります。本殿は国指定重要文化財、木造隨身倚像、木造狛犬は市指定有形文化財。

春の小川ルネサンス～めだかの学校



学園都市平川

から」と平川地区青少年健全育成協議会長の長見正義さん。「全戸に参加を呼び掛ける『親子クリン作戦』は環境美化も目的ですが、親子のふれあいの場でもあります。自分の子供の友達やお父さんと知り合えたり、子供にも〇〇君のお父さんと覚えてもらえる」。



作戦」は環境美化

自分の子供もああいふ風に考えているのかなと思ったりしますね。平川まつりや九田川の鯉の放流に参加要請したり、山本の七夕祭で薬物乱用防止のチラシを配ったりと、まず交流の場を作ることでしょう。学生を地域の人が親の立場で見守ってあげたいと話されています。

十一月二日の山本姫山祭に「平川地区民の店」を出店したグループがありました。中学校のPTA活動などで知り合い「何かにつけて集まる」という人たちがいます。地区の生活体育振興会の理事もつとめる永久明さんは「チャレンジャー」というおじさん軍団を作ってスポーツ少年団のサッカークラブや野球部との試合にも挑戦しています。平川大好き人間が集まって、平川まつりを手伝ったり、こうして姫山祭に参加したりして、平川を少しずつでもアレンジしていきたいですね。「学園都市平川というの、学校が多いという立地条件だけでなく、本当の意味での学園都市を目指したいんです」。



は田んぼも広がっているし、小川のあるまちになればいいなど企画しました。どこに川を作ろうかと長見さんや公民館に相談してから地域の人の関わりが始まりました。田んぼも貸してもらい、地域の人たちが『やろう、やろう』と

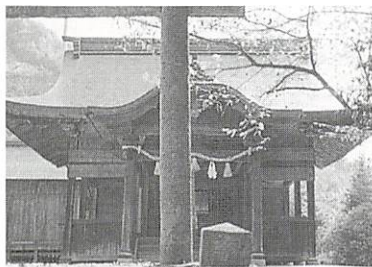
言ってくれました。『春の小川』をとおして、平川地区民として一緒に住みたいという思いがとも強くまりました」。

学生とともにプロジェクトに参加された佐藤登教育学部教授も「人とのふれあいを第一に考えるまち、年齢を超えたつながりがあるまちが人にとって一番暮らしやすいんじゃないでしょうか」と話しておられます。

平川では「春の小川ルネサンス」めだかの学校」で学生と地域の本当の交流が始まったようだとされています。日高さんは「めだかの学校」で「おねちゃん」と親しまれ、平川まつりなどにも参加して交流を深めています。農村から学園地区へ、都市化が進む中で失ってはいけないものがあると「春の小川」は呼び掛けました。



寺内元帥生誕地 幕末、長州藩士の三男として平川に生まれました。明治維新から西南の役、日清戦争に従軍、陸軍大臣となり日露戦争でも大任を果たしました。陸軍大将、元帥から内閣総理大臣。



高倉荒神様 大内氏の始祖琳聖太子が渡来したとき佐波郡に高倉荒神を造立し五代重村が荒神山に移したと伝えられています。明治に現在の恒富八幡宮境内に移りました。農業の神様で「おためし」という稲の作柄を占う神事が行われ、二月二十八日の例祭は平川の有名なお祭りです。

平川婦人会の中川昭恵会長は「婦人は、動員を割り当てられたり、手伝いばかりやらされるというイメージがあるみたいですが。実際は行事の企画から婦人も加わり、地域のまちづくりに参加しています。今年の地区老人福祉大会も、地区のお年寄りに人生経験を語ってもらおうという新しい試みに変えてみました。婦人会活動をどうわかってもらうかが課題」と言われます。

「まずお互いが知り合うことから」と平川地区青少年健全育成協議会長の長見正義さん。「全戸に参加を呼び掛ける『親子クリン作戦』は環境美化も目的ですが、親子のふれあいの場でもあります。自分の子供の友達やお父さんと知り合えたり、子供にも〇〇君のお父さんと覚えてもらえる」。



「推進大会で学生さん

平成八年度に「平川地区安心の街づくり推進事業」が行われ続けた。学校が多く、人口も増え続ける地区として、地区民が一体となつて安心の街づくりをしようという事業です。推進委員会の会長をつとめられた戸谷雅夫さんは「推進大会で学生さん



うおじさん軍団を作ってスポーツ少年

今年六月九日、上平井に作った「春の小川」に山本生や地区民約二百人が集まってメダカの放流を行いました。広中平祐山大学長

嘉村礒多生誕百年祭を 顧みて

和田健さん
（詩人）

嘉村礒多生誕百年祭も地元仁保の地区全戸をあげての協賛と県・市の助成もあり予定どおりの行事を終了し、関係した一人として感慨なきを得ない。

今さら申すまでもなく、純文芸作家で私小説の極北とまで評された嘉村礒多の業績が、この機会に一般市民の前に開かれたことは、大変意義あることであった。礒多生誕百年祭は本年度初めから、仁保公民館を中心に企画が進められた。まず実行委員会が結成され、会長に仁保自治会の山本繁正会長が選任された。事業の推進に当たっては、多年にわたり礒多研究に打ち込んでこられた多田みちよさんのアドバイスを受けること大であった。



礒多展のテープカット 写真右より、山本会長、佐内市長、実妹のイクヲさん、井上教育長、筆者



さて、礒多百年祭は協議を重ね、次の五つの柱が建てられた。

- 一、生誕祭式典 十月十八日 大富小跡の文学碑前と大富公民館
 - 二、資料展 C. S赤れんが 会期十八日から二十六日
 - 三、短文芸大会 十二日 短歌・俳句の吟行 礒多の里で
 - 四、記念講演会 十八日午後 C. S赤れんが
 - 五、市内文学散歩 二十五日 礒多ゆかりの場所を訪ねて
- 百年祭のトップをきったのは

十月十二日に実施された短文芸大会である。参加者は俳句三十七名、短歌十二名。天位は短歌「礒多の柩担ぎ」という老人の話をききて墓に向へり」立岡勲さん、俳句「納屋障子貼りかへてあり礒多の居」伊川哲玄さん。選者は短歌は山本寛嗣、俳句は上野燎、藤本保太の諸先生。

次いで礒多資料展は十八日からオープン。それに先立ち当日、午前九時、開幕のテープカットがC. S赤れんがの玄関前で行われ、山本会長、礒多の実妹イクヲさん、その長男で介添えの嘉村信郎氏、佐内市長、井上教育長、郷土文学界を代表して筆者の六人がはさみを入れた。

展示資料の内、写真の多くは多田さん所蔵のもの。その他の展示品は山口県立大学付属郷土文学資料センター、県立山口図書館、山口大学図書館の協力を受けた。また、下関市在住で仁保出身の石川秀氏が長年に渡り収集した礒多の初出作品を登載した雑誌類も並べられた。入館者は村中館長のカウンタによると一週間で千四十人。遠くは佐賀県から泊まりがけで駆けつけた熱心なファンもいた。観覧した人の声を要約すると、文壇に出てわずか六年間で、これだけの不

滅の作品を残したという驚きが圧倒的で、資料展を見て引き続き仁保の生家を訪れ、そこが記念館になっていると思ひこんだ人も何人かあったそう。

碑前祭は大富小学校跡にある礒多文学碑の前で十八日午前十一時三十分から挙行された。式の次第の中で印象に残ったのは、仁保



香川拓郎君の朗読

集合。参加者は四十人。市営バス一台に乗って「市内文学地図」を片手に出発。途中、礒多展に寄り、そこで前記石川秀氏制作による8ミリ映画「途上の人」を鑑賞。昼食は大富公民館で「大富をよくする会」の婦人部の皆さんによる手づくりの松茸むすびと熱い松茸汁に舌つづみを打った。そして、ハイルイトは礒多の生家で今も一人で家を守っておられる九十一歳のイクヲさんを囲み、カメラのフラッシュが一斉に光り、「いつまでも、お達者で」と励ましのことが、がみんながらかけられた光景が、私の胸を熱くした。

中三年生、香川拓郎君の朗読で、礒多の随想へ「上ヶ山」の里―我が郷土を語る―が元氣よく読み上げられた。式終了後、会場は大富公民館に移り、懇親を兼ね「礒多を語る会」が催された。この会で寶心流吟道寶水会（会長・木原寶心）社中の構成吟「礒多残影」が披露された。

当日、午後三時半からは、C. S赤れんがで鹿児島大学の廣瀬晋也教授による「嘉村文学が語りかけるもの」と題し講演があり、嘉村文学の世界が学問的に解明された感があつた。

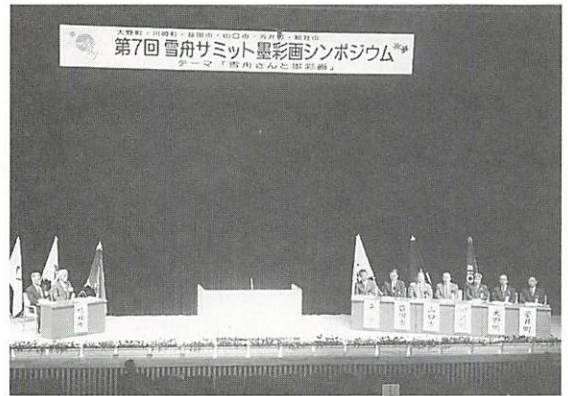
二十五日に行われた市内文学散歩は、九時三十分、高田公園に



礒多展で佐内市長を案内する多田みちよさん

雪舟がとりもった友好 ～第7回雪舟サミット～

雪舟ゆかりの3市3町(岡山県総社市、岡山県後月郡芳井町、島根県益田市、福岡県田川郡川崎町、大分県大野郡大野町、本市)が集まった雪舟サミットが11月4日、5日に総社市で開催されました。開催地を毎回リレーしていたサミットも今回の7回目で二巡目にはいりました。サミット会議では佐内市長をはじめ6自治体の首長が、相互の友好を一層深めるために、住民同士の交流や、共同事業の開催などについて話し合いがされました。次回のサミットは平成11年度に益田市で開催されます。



▼良城小の放流

▲大殿小の放流



たくさん大きくなあれよ ～各地でホタル放流の集い～

今や山口市を代表する初夏の風物詩となったゲンジボタル。そのホタルを大切に飼育してきた大殿、良城、宮野の各小学校の児童が、10月下旬からそれぞれ一の坂川、吉敷川、榎野川上流にホタルの幼虫を放流しました。幼虫の数は3校を合計すると約34,000匹。たくさん大きくなって、きっと来年初夏には光の乱舞が見られることでしょう。



▲宮野小の放流



幸せになります!

メモリアルウェディングです!

11月1日、西京スタジアムで幸せ一杯のナイターゲームが行われました。この日ご結婚された水田道雄さん・富貴さんご夫妻と道雄さんの職場の野球仲間のみなさんが人生の節目にナイターゲームをしようという「メモリアルスタジアム」の企画に応募・実施されたものです。富貴さんの始球式で幕開けしたメモリアル試合は、終始2人の熱気でムムン。「普通の飲み会よりもずっと思い出に残るし、多くの野球仲間にも祝ってもらってうれしい」と野球好きの道雄さんは大喜びでした。

おもなできごと (10/25~11/7)

- 10月
- 25日 ★佐山ハビテーション分譲開始
- 28日 ★ホタル放流の集い(吉敷地区)
- ★市長を囲む会(大内地区)
- 29日 ★名田島菜の花播種
- ★1日合同行政相談
- 31日 ★ホタル放流の集い(大殿地区)
- 11月
- 1日 ★宮野中学校創立50周年記念式典
- ★ホタル放流の集い(宮野地区)
- ★西京スタジアム開設3周年記念「メモリアルスタジアム」
- 2日 ★Vリーグ女子日立バレーボール部指導によるバレーボール教室
- ★ふしの会館まつり(～3日)
- 3日 ★仁保ハロウィーン広場
- 6日 ★市長を囲む会(仁保地区)

リサイクルプラザホームページを開設

山口市リサイクルプラザでは、このたび独自にホームページを作成、インターネットで情報発信を始めました。これは、全国のリサイクルプラザの中でも先駆けとなる取り組みで、分別収集、つくし推進事業、来年1月から始まる指定ごみ袋制度などが紹介されています。また、不用品売買の情報交換を行う「いらんかね情報」「くれんかね情報」のコーナーを山口市のホームページからこちらに移し、さらに内容の充実、情報更新のスピードアップを図っています。



リサイクルプラザホームページのアドレスは

<http://www.urban.ne.jp/home/yimgplaza/>

来春が楽しみな菜の花の種まき

毎年3月に開かれる「菜の花フェスティバル」のための菜の花の種まきが10月29日、名田島の山口南総合センター近くの田んぼで行われました。「田園名田島きらめくふるさとづくり実行委員会」の会員ら約30人が参加し、刈り取りが終わった約1haの田んぼに種をまき、肥料をやりました。来春6回目を迎えるフェスティバルには見事な黄色いじゅうたんを敷きつめたような菜の花が咲き、訪れる多くの人たちの目を楽しませることでしょう。



大殿小りんごの皮むき大会

11月1日、大殿小学校でりんごの皮むき大会が行われました。これは、3年生の学年PTA活動の一環として行われたもので、りんごの皮をどれだけ長くむけるかに親子一緒になって挑戦。PTA学年代表委員の小川清美さんは「これをきっかけに子ども達が家事に興味を持ってくれるようになればと思います」と話されました。終わってみると1メートル以上も切れずにむいた子もいて、びっくり。皮をむいたあとはみんなでりんごをほおぼり、教室はりんごの甘酸っぱい香りに包まれていました。

第2回 仁保ハロウィーン広場

みぎさん



こんにちは！

晴天の11月3日、仁保KDD周辺で仁保ハロウィーン広場が開催されました。

この催しの一番の目玉はなんといっても「おぼけかぼちゃのランタンづくり」。果たしてどんなランタンができたでしょうか…。



子どもが好きな「ポケットモンスター」をイメージしています。似てるかな？

顔は後ろにもあるんですよ。頭は今からお花の形に掘ってみます。

お友達同士で参加です！

浜田美智子さん親子、船木美由紀さん親子のグループ



このデザインはみんなで考えました。なかなか斬新でしょ？目の玉と牙を彫ってみました。そうしたら、かわいいおぼけになりました。

お昼に食べたポンポラ飯もおいしかった！

山下正子さん親子のグループ



これは子どものデザインです。アニメにある「パイキンマン」をイメージしているようです。子どもが自分でくり抜いたんですよ。

がんばりました！

原田勝行さん親子のグループ



飛び入り参加です！ 山根千代子さんグループ

これは子どものおぼけです。口にあるのは牙なんですよ。おぼけにみえますか？

子どもより大人が夢中になってしまった感じです。このランタンに火をいれるのか楽しみだなあ。

来春の入園児を募集します

〔市立幼稚園〕

○対象児

- ・4歳児/平成5年4月2日～6年4月1日生まれ
- ・5歳児/平成4年4月2日～5年4月1日生まれ

※5歳児と宮野幼稚園の4歳児は定員に満たない場合のみ募集します。

※宮野幼稚園については、別に3歳児を15人募集します。

○願書受付

12月1日(月)～5日(金)

○募集園児数

- 仁保(35)、小鯖(35)、大内(70)、宮野(70)、吉敷(70)、平川(105)、鑄銭司(35)、名田島(35)、二島(35)

○申し込み

各幼稚園に備え付けの「入園

願書」に必要事項を記入し、希望する幼稚園へ

○問い合わせ 市教育委員会学校教育課(☎22・4111)

〔保育園(所)〕

○対象

乳幼児の保護者、同居の親族のいずれもが仕事を持っていない、病気などの理由で乳幼児の保育ができない家庭に限ります。この場合でも、家庭でほかに児童を保育する人がある場合は除く

○保育園とその所在地

- 山口(旭通り一丁目)、東山(東山二丁目)、大内(高芝)、陶(丸尾)、楠木(楠町)、三の宮(芝崎町)、山口第二(三和町)、嘉川(岡屋)、三つ葉

(嘉川免地)、佐山(小路)、乳児(大手町)、湯田(今井町)、平川(台)、おおとり(吉敷)

○案内書・申込書の配布

11月20日(木)から、市児童家庭課・各保育園で

○申込書の受け付け

12月1日～10日の土・日曜日を除く午前10時～午後3時の間に市児童家庭課へ

※陶・嘉川・三つ葉・佐山の各保育園は、前記の期間内に各園でも申込書の配布・受け付けを行います。

※今年入園手続きをして入園できなかった人も、新たに手続きが必要です。

○問い合わせ 市児童家庭課(☎22・4111)

児童館特別講座 手作り年賀状(はじき絵)

- 日時 11月27日(木)・28日(金)、午後3時30分～5時
- 場所 山口市児童館(下堅小路254)
- 対象 小学1年～3年生
- 募集人員 30人(先着順)
- 受講料 100円
- 持参品 油性マジック、鉛筆、クレパス、絵の具用大筆・平成10年用の年賀はがき2枚
- 申し込み 11月17日～19日の間に、市児童館(☎28-8656)へ



大島みかん狩りと伊藤公資料館見学

- 日時 12月7日(日)午前8時出発/午後6時帰着予定
 - 行程 山口市民会館小ホール前～山陽道～大島大橋～大島安下庄みかん園(みかん狩りと昼食)～大島～大和町伊藤博文公資料館～山口
 - 募集人員 120人(先着順)
 - 参加料 大人7,000円、子ども・身障者6,500円(昼食・入園料を含む)
 - 申し込み 山口市交通局(第2種旅行業知事登録第2-44号☎22-2555)へ
- ※くじ引きがあります。



国民健康保険被保険者証の更新

現在お使いになっている国民健康保険被保険者証・退職者被保険者証の有効期限は、平成九年十一月三十日までとなっています。これに伴い、次のとおり被保険者証の更新を行います。

○更新の時期

十一月二十八日(金)まで

○新しい被保険者証の色

・一般：はだ色

○更新の方法

新しい被保険者証は、原則として十一月月中旬に発送します。新しい被保険者証が十一月末日までにご自宅に届かないときは、市保険年金課までお問

い合わせください。なお、旧被保険者証は、新しい被保険者証がご自宅に届いた後、市保険年金課または最寄りの出張所へお返しください。

○遠隔地被保険者証について

福祉施設入所などにより、遠隔地被保険者証が必要な方は、新たに申請が必要となります。

新しい被保険者証と印鑑をお持ちになり、市保険年金課または最寄りの出張所で手続きをしてください。

○問い合わせ 市保険年金課 給付担当(☎22・4111/内線2833・2834)へ

山口市教育研究大会

○日時 十一月二十日(木)午後一時三十分～四時十五分

○場所 山口市民会館大ホール

○内容 パネルディスカッション「『生きる力』とは、幅広い

視座から考える」

○入場料 無料

○問い合わせ

市教育委員会学校教育課(☎

22・4111)へ

※駐車場は、白石小・白石中・附属山口小(上)の各グラウンド、亀山公園駐車場、中央高校跡地、中央公園駐車場(県立体育館前)を確保しています。

※雨天時は、学校のグラウンドへの駐車はできません。

催し物とお知らせ

中小企業年末資金融資

- 使途 運転資金
- 限度額 1企業500万円以内
- 融資期間 5か月以内
- 返済方法 一括返済
- 融資利率 2.3%
- 取扱期間 12月30日まで
- 申込先 山口信用金庫・山口銀行・吉南信用金庫・西京銀行・広島総合銀行・西日本銀行・第一勧業銀行・津和野信用金庫
- 問い合わせ 市商工観光課 (☎22-4111) へ

道路交通法が変わります

近年、高齢者の事故や大型車による事故が目立っています。その対策として、道路交通法の一部が改正され、平成9年10月30日から3段階で実施されることになりました。今回の改正では、以下の項目が実施されます。



- トレーラーは高速自動車国道等では左端の車線を
- 75歳以上のドライバーは高齢者マークの表示を
- ドライバー等は高齢歩行者の安全に配慮を
- 交通情報提供者は交通の安全や円滑に配慮を

ふれあい広場「日曜朝市」

- 日時 11月23日(日)午前6時30分から(小雨決行)
- 場所 パークロード・県立美術館前(歩道内)
- 出品物 野菜、果物、花類、加工品など
- 問い合わせ 市生活環境課 (☎22-4111) へ
- ※最寄りの駐車場をご利用のうえ、朝市会場にお越しください。



ワープロ・パソコン講習会

- 期日 平成10年1月12日～2月6日(土・日・祝日は休み)
- 時間 午前10時～午後3時
- 場所 山口障害者職業センター(防府市岡村町3-1)
- 対象 就職を目指す障害者の方(初心者)
- 募集人員 若干名
- 受講料 無料
- 申し込み 電話またはファクスで、山口障害者職業センター(☎0835-21-0520/☎0835-21-0569) へ

募集コーナー

湯布院と別府 湯ったり年忘れツアー

- 期日 12月14日(日)～15日(月)
- 時間 午後1時出発/翌午後5時帰着予定
- 行程 山口市民会館小ホール前～中国・九州自動車道～宇佐・大分道～別府温泉(泊)～湯布院町民芸村自由散策～玖珠～深耶馬溪～山口
- 募集人員 80人(先着順)
- ※最少催行人員30人
- 参加料 22,600円
- 申し込み 山口市交通局(第2種旅行業知事登録第2-44号/☎22-2555) へ
- ※オホーツク海の鮭1匹付きです。

第23回山口市家庭婦人バレーボール大会

- 日時 12月14日(日)午前8時30分開会
- 場所 山口県スポーツ文化センターアリーナ
- 対象 市内在住の既婚女性
- チーム編成 監督1人、コーチ1人、マネージャー1人、選手12人以上
- 参加料 1チーム1,000円
- 申し込み 12月5日までに市教育委員会体育課(☎22-4111) へ
- ※12月10日(水)午後3時から、市役所3階第10会議室において、監督者会議を開催します。



編集後記

▽山茶花の白・淡紅色の花が。寒さにも負けず元気に咲き出した。とても清潔そうだ。

▽稲刈りも終了したが、三割減反による減収のうえ、自主流通米の予想以上の値下げに、生産意欲も大幅に後退。アアあつーとため息。

▽「市財政公表」健全財政とまではいかないが、県庁所在地や伸びる都市の形態に少し近づいて来ているようだ。市長以下全職員の実績の成果か。さらに長期を展望して。

市民法律無料相談

○日時 11月26日(水)午後1時半(1時受付開始)

○場所 白石公民館

○相談内容 日常生活での法律の問題に関すること

○相談員 弁護士

○問い合わせ 市広報広聴課 書などを 持参してください。

※行政相談は、市民相談室、行政監察事務所(☎22-11590)で常時受け付けています。

※ご相談に際しては、詳しい書類(登記、契約書など)を持参してください。

12月の不燃物収集

1日(月)	仁保
2日(火)	上金古曾・下金古曾・八幡馬場・上古熊・古熊・天花
3日(水)	吉敷
4日(木)	上壁小路・下壁上・木町・太刀売・野田・大殿大路・大市諸願
5日(金)	大蔵
8日(月)	小鯖
9日(火)	中市・久保小路・新馬場・銭湯小路・相物小路・松の木町・西滝・東滝
10日(水)	嘉川
11日(木)	(上・中・下)後河原・中河原・御局小路・米屋町・天神通り
12日(金)	陶・鑄銭司
15日(月)	佐山
16日(火)	鱈石・西惣太夫・東惣太夫・今小路・新天街・新丁・新道・早間田・新町
17日(水)	名田島・秋穂二島
18日(木)	(上・中・下)道場門前・今市・今道・大附
19日(金)	宮野
22日(月)	東白石・西白石・東糸米・西糸米・荒高・田町
23日(火)	大内
24日(水)	三和町・中讃井
25日(木)	平川
26日(金)	(上・中・下)清水・熊野・竜王町・一本松
29日(月)	西朝倉・元町西・元町
30日(火)	朝倉中央通り・東朝倉・泉町・前町・湯屋町・角下市町

健康コーナー

精神障害者保健福祉手帳の申請を受け付けます

- 対象者 精神疾患を有する者のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活または社会生活への制約がある者
- 申請・交付窓口 山口県山口健康福祉センター(吉敷3325-1)
- 申請書類 申請書・医師の診断書または障害年金の年金証書、年金裁定通知書、直近の振込(支払い)通知書の写し、印かん
- 有効期間 2年(更新・変更・再交付ができます)
- 問い合わせ 山口健康福祉センター精神保健班(☎34-2525)へ

いのちへの 優しさと思いやり

平成9年10月16日に「臓器の移植に関する法律」が施行されました。

臓器移植は、あなたの優しさと思いやりによる臓器の提供があってこそ、成り立つものです。みなさんのご理解をお願いします。

- 臓器提供に関するお問い合わせ (社)日本臓器移植ネットワーク本部(☎0120-78-1069)へ

催し物とお知らせ

シルバー人材センター 入会説明会

- 日時 11月18日(火)午後2時から(1時間程度)
- 場所 山口しあわせプラザ(上堅小路89-1)
- 対象 市内在住でおおむね60歳以上の健康な方
- 問い合わせ (社)山口市シルバー人材センター(☎24-5396)へ

電話加入権の公売

市では、市税・国民健康保険料の滞納により差し押さえた電話加入権を、入札により公売します。

- 日時 11月28日(金)午前9時40分から
- 場所 市役所2階第2会議室
- 持参品 印鑑、身分証明書(運転免許証など)、入札予定金(50,000円以上・消費税別途)
- ※本人以外の方が入札する場合は、委任状が必要です。
- 公売する加入権 4件
- 問い合わせ 市収納課(☎22-4111)へ
- ※市税等の納入により、当日公売を中止することがあります。

心身障害児の療育相談

- 日時 12月11日(木)午後1時30分~4時30分
- 場所 山口県身体障害者福祉センター(八幡馬場36-1)
- 対象 心身に障害がある(疑いも含む)乳幼児とその保護者
- 担当者 小児科・精神科・整形外科の医師ほか関係者
- 持参品 母子健康手帳
- 申し込み 市高齢障害課(☎22-4111)へ

マザー・テレサの世界

- 日時 11月22日(土)午後2時開演
- 場所 山口南総合センター(名田島1218-1)
- 内容 映画「マザー・テレサとその世界」上映と講演
- 入場料 一般1,000円(当日1,200円)、小中高生500円(当日600円)
- チケット取扱 ギャラリーナカノ、シュプール
- 問い合わせ 木村さん(☎0839-72-5959)へ
- ※この映画の収益金は、阪神大震災で被災された方々に寄付されます。

山口南総合センター 「名画シアター」

- 日時 11月30日(日)午前10時~午後0時45分/午後1時~3時45分(2回上映)
- 場所 山口南総合センター(名田島1218-1)
- 上映作品 「イングリッシュ・ベイシメント」(本年度アカデミー賞受賞作)
- 入場料 無料
- 問い合わせ 山口南総合センター(☎32-8333/小郡72-8333)へ

第6回山口矯正展

- 期日 11月29日(土)・30日(日)
- 場所 山口県体育館(中園町7-1)
- 内容 文芸作品展示コーナー、即売コーナー、広報コーナーなど
- 問い合わせ 山口刑務所(☎22-1450)へ

第3回

山口県障害者芸術文化祭

- 期日 12月6日(土)・7日(日)
- 場所 山口県国際総合センター「海峡メッセ下関」イベントホール
- 内容 芸術作品の展示および音楽・演劇などの発表
- 問い合わせ 山口県身体障害者社会参加促進センター(☎28-5432)へ

犯罪捜査にご協力を!

110番通報は、事件が確実に発生したとわかったときだけではありません。おかしいなと思った場合や怪しい人物を見かけた場合は、深夜、早朝を問わず、110番通報してください。

あなたの一言が、難事件を解決する重要なカギとなります。みなさんのご協力をお願いします。

他市町の情報コーナー

RE 掲示板

山口県央部地方拠点都市地域整備推進協議会
(山口市・防府市・小郡町・秋穂町)

- 防府市
- 第28回防府読売マラソン大会
 - とき 12月14日(日)12時02分~
 - ところ 防府市陸上競技場スタート/ゴール
 - 問い合わせ 防府市体育課(☎0835-23-3100)へ

- 小郡町
- 雨乞山・元日登山
 - とき 平成10年1月1日(祝)
 - ところ 小郡町雨乞山
 - 集合 小郡町公民館前・6時15分集合
 - 問い合わせ 小郡町公民館(☎0839-73-0638)へ

- 秋穂町
- あいお道の駅祭り
 - とき 12月28日(日)9時~
 - ところ 道の駅あいお
 - 問い合わせ 秋穂町産業振興協会(☎0839-84-2738)へ